

ピリピリはしていないけど キビキビしている場所

大営メリヤスのホームページをデザインすることになり
会社の概要・情報はもちろんのこと、
自分が感じた会社の空気感までも伝えられたらと考え
このサイトをデザインしました。

鉄工所、印刷所、塗装の工房、縫製会社など
仕事柄さまざまな作業の場所へ行かせていただく。
どの作業場にも共通しているのは
"良いもの"を作っている場所には同じ空気感があり
独特のルールに沿ったある種の規律があることだと思っている。
床が綺麗であるとか、道具の向きが揃っているとか
細かなところももちろんだが、空気感に一番同じ印象を受ける。
機械や場所からだけでなく、
働く人からも同様にその雰囲気が出てくるもので
それは顔つきだったり、仕事を説明してくださる口ぶりだったり。
そういう空気を感じられると、すごく心が揺さぶられ
一緒に仕事をやらせていただきたいなど、とても強く思う。

最初に大営メリヤスと接したのは生地を介してだった。
自分は生地や糸について詳しくないが、
分かる・感じる質というものがあるとその生地からまず感じた。

その後、工場に行く機会をもつことができ
記録の写真を撮りながら
働かれている人に声をかけさせていただいたり
色々な機械、場所を撮っていくにつれ
いつも感じる、良いものを作っている場の雰囲気を強く感じた。
それは代表から聞く工場についての話しぶりに、
メンテナンスの工具箱の整理整頓具合に
先代の社長についてお弁当の支度をしながら話してくれた方から。
そこかしかに、良いものを作っている雰囲気が充満している場所だと。

そんな汚いところを撮って笑　なんて後ろから声をかけられている時にも
はっきりと、気を抜いたら揺さぶられすぎて泣くかと思うぐらいに
良いものをととても普通のことの様に、当たり前を作り続けている自信を感じた。

誰も手を抜いてないし、誰も限界まで突き詰めているわけでもなく
声を自然に掛け合い相談し、淡々と良いものをつくることに全体が集中している。
そういう信じられない純粋なバランスを感じる、良いものを当たり前につくる
大営メリヤスはそういう会社だと思います。